



2019年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団

連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込
先着 30 名

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第3回は、田中聡一郎氏をお招きして、「検証：新しいセーフティネット」について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、会場整理の都合により参加者は先着 30 名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第3回：検証：新しいセーフティネット

日時 2019年11月30日（土）15:00～16:40（14:30 開場）

場所 法政大学大学院棟4階401教室

講師：田中聡一郎 氏

関東学院大学経済学部准教授

田中聡一郎(たなか・そういちろう)氏のプロフィール

立教大学経済学部助教を経て、2019年から現職。

近著に菅沼隆、土田武史、岩永理恵、田中聡一郎編著『戦後社会保障の証言－厚生官僚 120 時間オーラルヒストリー』（有斐閣 2018 年）がある。

プログラム

* 来聴歓迎 *

15:00～16:10 講演
16:10～16:40 質疑応答

～お問い合わせ～

連帯社会研究交流センター（ReCSS）

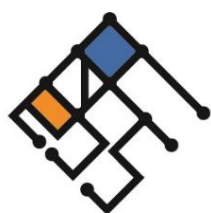
e-mail: info@recss.jp

URL: <http://recss.jp>

東京メトロ南北線/有楽町線「市谷駅」

5番出口下車徒歩3分





2019 年度

「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。全6回の日程とテーマは下記のとおりですので、ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。参加申し込みは、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行いますので、同サイトの「イベント・シンポジウム」のページ<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第1回：中国とNPO：中国におけるNPO活動と日中交流の活動

日時：2019年9月28日（土）15：00～16：40（14:30 開場）

場所：法政大学大学院棟4階401教室

講師：李 妍焱（駒沢大学文学部教授）

参考文献：李 妍焱(2018)『下から構築される中国——「中国的市民社会」のリアリティ』（明石書店）

第2回：社会への投資

日時：2019年10月19日（土）15：00～16：40（14:30 開場）

場所：法政大学大学院棟4階401教室

講師：三浦まり（上智大学法学部教授）

参考文献：『社会への投資—〈個人〉を支える 〈つながり〉を築く』（岩波書店、2018年）

第3回：検証：新しいセーフティネット

日時：2019年11月30日（土）15：00～16：40（14:30 開場）

場所：法政大学大学院棟4階401教室

講師：田中聡一郎（関東学院大学経済学部准教授）

参考文献：駒村康平・田中聡一郎（編）『検証・新しいセーフティネット—生活困窮者自立支援制度と埼玉県アスポート事業の挑戦』（新泉社、2019年）

第4回：ESG投資の現状とNPO/NGOの役割

日時：2019年12月14日（土）15：00～16：40（14:30 開場）

場所：法政大学大学院棟4階401教室

講師：水口剛（高崎経済大学経済学部教授）

参考文献：『ESG投資—新しい資本主義のかたち』（日本経済新聞出版社）、『責任ある投資—資金の流れで未来を変える』（岩波書店）、『サステナブルファイナンスの時代—ESG/SDGsと債券市場』（編著、きんざい）など。

以上